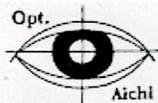


OPT・NEWS



あいち

発行 愛知県眼鏡小売商協同組合

発行人 / 成田光宏

編集人 / 広報委員会 鈴木雅博



東海眼鏡協議 新春互礼会

東海眼鏡協議会(代表幹事平岩幸一氏)は2026年1月20日(火)午後6時より東京第一ホテル錦(名古屋市中区錦三丁目)11階「アンピオ」にて新春互礼会を開いた。関連する企業、関係団体からの来賓と新年を祝い合った。

新春互礼会は愛知県眼鏡小売商協同組合宇佐美太朗副理事長の司会で開会。挨拶に立った平岩幸一代表幹事は「眼鏡作製技能士が誕生し4年が経った。技能士は常に学び実践を積んで店頭に立っておられることは誠に嬉しい事であり、本日ご列席頂いた関係者の皆様のお陰と感謝申し上げる。制度の立ち上がりには様々な意見を耳にすることもありますが、正しい技術を持った眼鏡作製技能士が今後

もより多く育ち、眼鏡ユーザーに正確な眼鏡を提供できることを望んでいる。東海眼鏡協議会としても毎年秋に開催している東海眼鏡フォーラムをはじめ、私たちがこの地区で勉強する機会を設け続けてまいりたいと思うので、今後とも皆様の協力にご期待をさせて頂きたい」と述べた。



挨拶する平岩代表幹事

持続可能で公正公平な試験実施によって眼鏡作製技能士の更なる誕生を期待



来賓祝辞を述べる木方氏

来賓挨拶では(公社)日本眼鏡技術者協会木方伸一郎会長より「眼鏡技術者協会は眼鏡作製技能士国家検定指定試験機関として、持続可能で公正公平に試験を執り行い本年度5回目の開催となる。試験実施に際しては毎年工夫をしているが、本年は学科試験をCBT(Computer Based Testing)で行う。CBTによる試験は各種技能検定でも多く取り入れられている。実技試験は対人でなくてはいけないので、検定員や補佐員として引き続き皆様のお力添えをお願いする」と挨拶がされた。

また(一社)日本メガネ協会副理事長小林成年氏(=右写真)は「全国で現状9,606名の眼鏡作製技能士が活躍頂いており、愛知県では916名の眼鏡作製技能士が誕生しており、全国1位の人数を輩出し



ている。国民人口比率で技能士の現状を見ると、メガネの買い替えサイクル4年、一人の技能士が245日働いたと計算した場合、毎日8.3人のメガネを作らなければならない、まだまだ技能士の人数が足りていない。また昨年5月から順次始まった日本眼科医会推奨眼鏡小売店制度は、12月までで10都道府県122店舗が登録されたが、日本の人口で割ると100万人に1店舗である。愛知県、岐阜県もこれから始まる予定だが、日本眼科医会からは、患者のQOVを高めるためにも早く推奨店数を増やしてほしいと要望がある段階で進んでいる。この段階を進めたうえでプライム会員制度など諸制度の充実を計りたい」と現状と展望を述べた。この他愛知県中小企業団体中央会専務理事佐々木靖志氏からも来賓祝辞が述べられ、互礼会に引き続き懇親会が開催され新年を祝いあった。

また、愛知県眼鏡小売商協同組合から愛知県アイバンク協会へ金一封を寄贈する目録贈呈式が行われ、愛知県アイバンク協会から当組合へ感謝状が贈呈された。

愛知県アイバンク協会 寺崎浩子理事長お礼の挨拶



本年も愛知県眼鏡組合の皆様から多額のご寄付を頂きありがとうございます。愛知県アイバンク事業は全国54のアイバンク協会の中でもトップクラスで、眼球の登録数、摘出数、移植数はケタ違いで手術を行っています。皆様からのご寄付は眼球受け取りに掛かる経費などに使わせて頂いています。年間100例近い移植が行われていますが、それでも365例の患者さんが移植を待っています。我々もさらに登録事業を活発に行っていかなければなりませんので、皆様からのご寄付は大変ありがたく思っております。

昭和51年から始まった愛知県眼鏡組合の皆様か

らこれまでの寄付額は2,300万円余りとなりますが、今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。



寺崎理事長へ目録を贈呈し、感謝状を受ける成田理事長



頑張る組合加盟店の顔が見える

名古屋支部

メガネのイダ 名古屋市南区道德通2-5-3



メガネのイダがある名古屋市南区道德通商店街は昭和の面影を残すノスタルジックな雰囲気が魅力的なエリアで、名古屋の昔の賑わいを体感できる散歩におすすめのエリアです。地名である「道德」は、「道義を以て徳を施す」という藩の方針から「道德新田」と名付けられたことに由来しています。

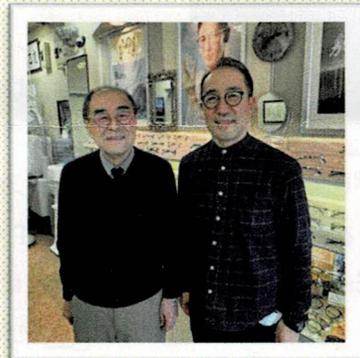
昭和42年に創業したメガネのイダは2代目店主勝久氏と3代目貴久氏が親子2代で営む地元密着の眼鏡専門店。店舗がある道德エリアは古くからの住宅街で、地域の特性を活かしたお店はお客様と心を通い合わせ、地域に住まう人々の生活と共にある眼鏡店です。

3代目店主貴久氏はお店を営む一方で、店舗近くの眼科クリニックで検査業務も勤める1級眼鏡作製技能士。眼科分野の臨床に立ち

合い、メガネ分野ではフィッティングの師匠と仰ぐ技術者の実践講習会に幾度となく参加して技術を磨き、眼鏡作製技能士の重要項目である「眼科との連携」を実践しながらより良いメガネを提供しています。

さらに貴久氏は剣道七段の武道家でもある。「メガネを掛けて間合いをつかめ！」と書かれた剣道用メガネの自作POPからは剣道にかける熱い情熱が伝わってきました。幼い頃から始めた剣道は今もなお自身

を磨き更なる昇段を目指す一方、大会の審判や後進の育成など指導者としても活躍しています。



2代目店主勝久氏(左)と3代目店主貴久氏(右) (=メガネのイダ店内で)

◇◇◇ 事務局からのお知らせ ◇◇◇

○ 代表者変更

- 〈名古屋支部〉 名古屋眼鏡株式会社
新代表 白濱 亮
- 〈三河支部〉 有限会社メガネの井上
新代表 井上 正行

いつも「オプトニュースあいち」をご覧いただきありがとうございます。「組合のWA!」の取材で訪問させていただく店やその地域には、紙面の都合上書ききれないたくさんの魅力があり、いつしか新たな出会いを求め取材が楽しみになっている今日この頃です。本年も「オプトニュースあいち」をよろしくお願ひいたします。

広報委員会一同